

平成24年度 山口県介護支援専門員協会 常任理事会(第4回)  
議事録

1 日 時

平成24年12月21日(金) 午前10時から12時30分まで

2 会 場

山口県セミナーパーク リハビリテーション実習室

3 出席者 7名

佐々木啓太 木村友和 藤本邦和 松井康博 堀田慎一郎 田村則子 岩神亜紀

事務局 福祉人材研修部 主事 川崎真由美 職員 福本かおる

4 報告事項

- (1) 各部会からの報告について
- (2) 予算執行状況について

5 協議事項

- (1) 次年度計画について
  - ・事業方針、各部活動内容
  - ・賛助会員
  - ・表彰規定
  - ・他県との連携
- (2) 事務局公募の金額について
- (3) 今年度の会議予定について
- (4) その他

6 審議の経過

佐々木会長 挨拶の後、各部の活動状況について報告を求めた。

堀田理事 部会開催にあたり次回協会だよりを3月の日本協会発送物に併せて発送予定。内容について第9回ケアマネジメント研究大会についてと、各部の部長より記事の掲載依頼をする。ホームページ管理について会長から広報事業部へ機能面の移行を進める。メーリングリストは地域代表者会議で協議しながら登録について進めていく。

協会だよりの広告について大手企業、メーカーに直接依頼をかけてみる。ホームページの情報が会員に伝わらない面があり、レクレーション的な企画をホームページに盛り込み、利用率を上げていきたい。

佐々木会長 広告掲載について県内の企業に案内をしていたが、福祉用具、食品関係の大手企業に依頼をかけ、営業に来られる業者へも声かけをしていく。

藤本事務局長 広告掲載の依頼文に年度内に広告掲載する物を全て載せておいた

方が依頼がしやすい。賛助団体の検討でも規定等について検討課題である。年間通して募集し、メインの物について重点的に依頼する。

岩 神 理 事 規定等統一していくが必要になる。

佐々木会長 文書通知だけでは伝わりにくいので、営業に来られる方との顔の見える関係の方が広告掲載につながるが、大手企業へは依頼文書で案内してみる。

メーリングリストについて機能がストップしており、発信できてない状態なので、入会申込書の様式を変更し記載いただいたアドレスをメーリングリストに登録していく形をつくる。

岩 神 理 事 メールが受け取れるよう、受け手側の一文制限解除について文書をつくる必要がある。

事 務 局 地域からの名簿についてアドレスが入力されていない地域が多い。県が名簿を入力するとなると入会金等の集金との兼ね合いが難しい。

藤本事務局長 名簿の管理について、継続の人については早い時期に人数を確定させておかないと会員の予測が難しい。

岩 神 理 事 振込手数料がかかるので一定の人数が集まった時点で名簿を県にあげることが多い。

藤本事務局長 会員の目線からいくと会費を払っても県、日本協会から通知が来ない等で会員の権利が発生しない形になる。地域協会が入金した時点で名簿は随時あげ、お金についてはまとめてあげてもらう形をつくる。

佐々木会長 地域代表者会議で名簿管理についてと、情報発信のメールアドレス登録について申込書に一筆いれていただき承諾を得る。

岩 神 理 事 生涯研修部から広島県との相互交流について、中国ブロック会議の後に研修会の相互乗り入れについて話し合い、広島県の研修会の案内をいただいている。日本協会他支部の正会員の方は当会員と同じ参加費区分で参加できることになっている。

精神疾患の要項を日本協会の発送便に併せて広島県協会会員へ案内するに当たり手元に届くのが研修日間近になるが発送するかについて伺う。

藤本事務局長 相互乗り入れについて細かい規定を作っておらず、会員に周知する方法が決まってない。

佐々木会長 今回要項を送ってみて課題等検討する。

木村副会長 岩国からは広島に行く方が近いので県の研修より参加がしやすい。

佐々木会長 精神疾患研修について広島県事務局へ発送日が遅れることと、ホームページに掲載していただくことを事前に了承を得ておく。広島県の

研修もホームページで案内していく。

岩神理事 文書については研修の相互乗り入れの案内文を各会員宛に作成し、広島県会員宛の文書は事務局に確認いただく。

研修部への要望について他支部の開催研修がわからない、身近なテーマ、日頃の業務に活かせる内容の研修を企画して欲しいとの意見がある。意見をふまえて次年度の研修計画を立てている。実務事務セミナーについては30人規模で実務につく必要がある人を対象に東部、西部で開催予定。身近なテーマについてニーズがあれば接遇について研修を開催する。施設研修について早いうちに企画を立て周知がうまくいけば人数は集まると思うが、グループワーク等で講師が複数必要になる場合がある。

住宅改修、福祉用具の選定についてPT、OT会に共催ができないか相談する。通所サービス事業所がケアマネに求めるものの研修はデイ協に相談を持ちかけ検討する。

研修の参加費の設定について検討したい。今年度大幅に収入を見込むよう取組んできたが、収支を同じくらいで組んでいきたい。会費が次年度上がるので、参加費を下げていきたい。

木村副会長 行きたいと思う研修なら参加費を下げなくても人は集まるので、値下げはしなくてもよいのではないかな。

岩神理事 かかる経費、費用の見込に併せて価格設定をしてよいか。

藤本事務局長 次年度すぐ行わないといけないのか。会員数が把握できないときに参加費を下げると、収支が読めない状況になる。不確定要素が多い中で決められるのか。開催要項等急ぐと思うが会員数の確定を待ってからでよいのではないかな。

岩神理事 事業で黒を現状と同じように出して行くべきなのか。収益を研修で上げ続けなくてはいけないのか。

藤本事務局長 赤字になるのは厳しいので分析が必要である。値下げについてリスクが高いのではないかな。

堀田理事 県力がないと出来ない研修の一つとして有名な講師を呼び、大きい研修を打ってみてはどうか。支部の研修を県がバックアップした方が参加人数が見込める研修があるのではないかな。

支部の年間の行事を確認して県の研修と精査するのもよいのではないかな。

岩神理事 ケアマネジメント研究大会も大きい研修だが人数集めは厳しい状況であった。

藤本事務局長 研修自体が飽和状態であるので参加者集めが難しい。

佐々木会長 接遇研修はやり方次第なので県がやるべきか検討すべきではないか。

木村副会長 実務事務セミナーでは業務的な所を教えてもらえるので、接遇等を組み合わせるのがよいのではないか。

岩神理事 実務事務セミナーに基礎的な考え方と、接遇、理由書の書き方等を加えた研修を企画する。

佐々木会長 研修参加費については会員数を見ながら次年度の中で判断していく。

田村理事 調査研究部では前回アンケートの集約を元に、年明けに部会を開きアンケート作成をしていく。対象者について絞り込み、今後の課題等を出していく。

松井理事 公益事業部では社会資源情報がとれる箇所のリンクをホームページに貼る作業をしていく。山口市、防府市、山口市社協、防府市社協のリンクを貼る予定。随時追加していく。

県協会からのおねがいアンケートに関して業務の大変さの中で、配食サービス申請の作業が負担との意見があるので、行政、市町とケアマネがどのように関わっているかのアンケートを作成。いただいた意見を返していく意味で配食について1つテーマとしてあげている。各地域、市町単位で願います。

災害について理事、地域の方と防府の水害を想定し、2月中旬頃公益事業部を中心に机上訓練のデモンストレーションを行う。次年度会員に向けて机上訓練が行えるよう組み立てていく。

佐々木会長 続いて予算執行状況について事務局長より説明をいただく。

藤本事務局長 研究大会収支について270名の参加があり、広告も当初より多くとれ、支出を大幅に抑えたので収益につながった。

予算執行状況について会議に係る旅費の削減、研修では会場費を押さえ、資料を事務局で印刷等経費を削減した結果、前年度より繰越金が109万円程度増える予定である。基礎研修の県からの助成金が入るのが次年度になる場合、県社協への事務費について今年度の支払いが難しい場合、次年度になることについてお願いをしている。

次年度会費が上がり、収益を協会としてどのように会員へ返していくかと、会員数が見込めない状況だが研修以外でも収益を考えていけないといけないので、方策として知恵を出していただきたい。賛助団体等新しいことにチャレンジして行く必要がある。

佐々木会長 去年が緊縮財政であり、本来会議等では出せてない高速道路代、研修協

力員の旅費等本来支出すべき所にあるので次年度見直していく。関連して協議事項の事業計画について次年度の活動計画に入っていく中で方針、計画を立てている。

事業計画の中でケアマネが働きやすい環境づくり、地域支部、近県との連携を諮りケアマネのスキルアップを目指していく。広島県と連携強化を諮っていくので中国ブロック会議で具体的な取り決め、研修についても話合っていく。

事務局の公募についてヘルパー協、介護福祉士会へ協同で事務局をする話を持ちかけたが県社協への委託体制を変えることはないとのことで、厳しい状態である。

公募の金額を以前提示した金額で設定し、期間を1月中で募集をかけてみる。

次年度の会議予定について地域代表者会議、常任理事会（第5回）を2月23日に、理事会を3月9日に開催する。

山口ハートフォーラムの後援依頼が届いているが、後援については今後理事に伺いを立て受けるか検討していく。

山口県健康福祉部主催、難病医療ネットワーク協議会の出席について松井康博理事が出席する。アンケートについては理事へ依頼する。

と き 午後1時00分

この議事録の内容が正確であることを証するため、署名捺印する。

平成24年12月21日

山口県介護支援専門員協会

議 長 \_\_\_\_\_ 印

署名人 \_\_\_\_\_ 印

署名人 \_\_\_\_\_ 印